

NPO法人 L.W.サポートの活動

男女の意識の変化、少子高齢化の進行を背景とした働く人々の意識の変化により、政府・企業の施策は「ファミリー・フレンドリー」から、全勤労働者のプライベートな生活全般にも配慮していくという「ワーク・ライフ・バランス」へと、施策の幅は広がってきております。近い将来、政府・企業だけでなく勤労者ひとりひとりが、自らの問題として考えていかなければならない大きな課題となってくるものと考え、NPO法人L.W.サポートを2007年8月1日設立いたしました。静岡県経営者協会、連合静岡、静岡県労福協ならびにNPO法人地域活性化支援センターは、それぞれ立脚点の相違を越えて、ワーク・ライフ・バランスへの取組みを通じた少子化対策に貢献すべく、労使協働による円滑な活動を目的に掲げ、全国でも斬新な団体の枠や壁を超えた活動組織ができました。

L.W.は「少子化対策ならびにワーク・ライフ・バランスへの取組み」が主たる事業目的なっております。静岡県内の全ての勤労者を対象に、情報ツールの発行、各種セミナーの開催等を通して、新たなライフスタイルの提案ならびに生活・意識向上を図ってゆくことを提案していこうと現在活動を進めています。活動領域は、子育て支援としての取組みのみならず、子供や家庭を持たない若い勤労者に対するワーク・ライフ・バランスの取組みまで及びます。具体的には企業に勤める若い人々のための各種交流イベントの開催、地域で活躍する若い人々に対するコミュニケーション技術の習得と交流機会の提供を行っていきます。個々のポテンシャルを高め世界に通用する人材の育成と、静岡県の次代を担う人々の将来に渡るネットワークづくりを図るとともに、異性との出会いの場も創出し、広義の少子化対策としても貢献できる活動にしていきたいと考えます。

特定非営利活動法人
L.W.サポート



千葉商科大学 学長 / 元内閣府特命顧問
顧問 島田 晴雄



特定非営利活動法人
地域活性化支援センター 理事長
理事 志垣 恭平



一般社団法人 静岡県労働者
福祉協議会 理事長
理事 平野 哲司



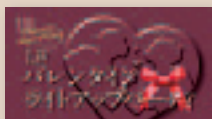
日本労働組合総連合会
静岡県連合会 会長
理事 吉岡 秀規



社団法人
静岡県経営者協会 専務理事
理事 青木 清高

▶ 設立から現在までの主な活動 ◀

LWパーティ



「静岡県育ててよし、ふじのくに民間チャレンジ

応援事業」で「LWハロウタイムアップパーティ」を開催。以降も継続的に仕事でがんばっている人々を対象に婚活支援事業を展開。身元が保証されている安心感からカップルになりおつきあいが始まる確率も高い。また営利を目的とした高額の入会金や成婚報酬なども発生しない。参加者の個人情報は団体や企業に伝わることはなくNPOの活動目的に則し運営しているので、女性への安心の配慮もきめ細か。「真面目な」「大人の」「刺激のある」交流機会となっている。

LWカード



静岡県内約1,000件の店舗にLWの活動についてのご理解をいただき、団体・組織の皆様から「ライフ」へのサポート特典として優待サービスの提供を受けられるLWカードをお一人1枚ずつお配りしています。使用方法はカードを提示するのみ。クレジットカードのように個人情報を登録する必要は一切ありませんので気軽にご使用いただけます。新社会人・中途採用・紛失の方など、カードをご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

情報誌 LWマガジン



読者の皆様の所属団体の枠を超えた「より豊かなプライベートライフの実現」と「リアルネットワーク」をコンセプトにネットワーキングツールとして発行しています。各団体のご協力の下、所属組織を経由して組合員の皆様へお届けいたします(20人に1冊程度を目標)。

LWクーポンは地域の活性化に繋がる、使うひとにとってはお得な優待券冊子。



定期開催の 理事会は シンクタンク



「ワーク・ライフ・バランス」の取り組みへの活動範囲は広い。労使双方、NPO等の銘々の団体の「頭脳」を結集して、今何から取り組むべきか議論、活動の方向性を決めています。

企画委員会 ではより 具体的に



各団体の実行部隊が日頃のノウハウを持ち寄って計画をより効率的に実行する具体策を検討。NPOの運営は活動費が少ないので活動のPR効果を高めるための「知恵」の見せ所です。

NEWS



婚活支援事業に明るいニュース。早くも結婚カップルが誕生。後に続く人たちの為にとカップルが「幸せ報告」に川勝平太知事を訪問。マスコミの皆様の質問にも喜びのエピソードを披露。LWの理事や運営委員も同席いたしました。

▶ 運営スタッフより ◀

「ワーク・ライフ・バランス」についての取組みは行政・企業・個人がその枠組みを超えて「理想の日本社会」実現のために取組んでいくもの。なんとなくのイメージや銘々の宣言は読者のみなさんにも届いていると思います。もう一歩進むには小さなことでも具体的に行動や形として試みていくこと、誰かが何かをしなくてはなりません。NPO法人L.W.サポートはみなさんの窓口として日々奮闘しています。皆様のご理解とご支援ご協力をお願いいたします。